

助成事業申請書 (手引き)

※必ず7枚以内でまとめてください

公益財団法人あいちコミュニティ財団
あいち・なごや子どもとつくる基金
2015年度「ホップ」助成事業申請書

投函日をご記入ください。

公益財団法人あいちコミュニティ財団 御中

申請日： 年 月 日

1. 申請団体について

団体名ではなく事業名をご記入ください。

(1) 基本情報 (※の「あいち・なごや子どもとつくる基金」寄付者や最終(公開プレゼンテーション)等の参加者に公開します。)

万円単位でご記入ください。

事業名 (※)			
申請金額 (※)	万円		
(ふりがな) 団体名 (※)	代表印を押印ください。		
(ふりがな) 代表者氏名 (※) (役職)	((印)
団体所在地 (※)	〒	ビルやマンション名もご記入ください。	TEL :
			FAX :
			E-mail :
(ふりがな) 担当者氏名 (役職)	(今回の助成事業の実務上の責任者となる方をご記入ください。	TEL : E-mail :
「あいち・なごや子どもとつくる基金」への寄付	有	無	いずれかへの参加が必須条件です。
	寄付者名		
「募集説明会」「個別相談会」への参加	募集説明会 ・ 個別相談会 (○を付けてください)		
認定ファンドレイザー認定者	准認定ファンドレイザー	有	無
日本ファンドレイジング協会が実施する資格制度です。	氏名 :	役職 :	
	認定ファンドレイザー	有	無
	氏名 :	役職 :	
CANPAN での情報開示レベル★5つ取得	済	未	(○を付けてください)

(2) ミッション、ビジョン、ポジション

自団体が果たす役割 (ミッション)	
地域や社会の 3~5年後のありたい姿 (ビジョン)	団体のビジョンではなく、地域や社会の3~5年後のあるべき姿をご記入ください。
他団体が果たす役割 (ポジション)	

(3) 団体の強みと弱み、外部環境の機会と脅威 (各項目 3 つまで)

団体内	【強み】	【弱み】
	資源、顧客サービス、価格、コスト、市場における知名度・評判、環境、人材、財務など	
団体外	【機会】(社会や世間の傾向、追い風)	【脅威】(団体を取り巻くリスク、向かい風)
	・ 競合他社の動向、市場の伸び、法規制、景気動向、ニーズの変化など 外部環境は、団体のことではなく、地域や社会のことをご記入ください。	

(4) これまでの主な事業と成果 (補助・助成事業の場合は、補助・助成元と金額も記入してください)

※概要を箇条書きで記入してください。

数が多くて書ききれない場合は、
金額の大きいものから順にご記入ください。

(5) 自団体の 3 年後のありたい姿 【公開】

※本基金による 3 年継続助成終了時の 2019 年 3 月末、どんな組織や事業になっていることを目指しますか？

2. 申請事業について

(1) 深掘りしたい地域や社会の課題の概要 【公開】

※申請事業で深掘りしたいのは、どんな課題ですか？ 本基金の選考委員会には、小学生が外部委員として参画する予定です。子どもたちでもわかるように、本事業で深掘りしたい課題の概要を 500 字以内でご記入ください。

課題を象徴するあいちの数字	
---------------	--

(2) 課題の当事者 【公開】

※深掘りしたい課題の当事者はどんな人ですか？ できるだけ具体的に説明してください。

性別	年齢	家族構成	性格	生活シーン	総数 (地域)
					()

具体的にご記入ください。

(3) 課題の原因の仮説【公開】

※課題を引き起こしている原因は何だと思いますか？

(4) 深掘りしたい課題を象徴する写真（1枚以上を貼り付け、説明してください）【公開】

(5) 課題を共有して巻き込みたい対象者（3つまで）【公開】

※課題を共有し、巻き込みたい対象者はどんな人ですか？ 例えば、最終（公開プレゼンテーション）選考に参加してもらいたいのはどんな人ですか？（各対象者の優先順位もつけてください）

属性 (性別、年齢、地域、所属、肩書き等)	巻き込みたい理由	優先 順位

具体的にご記入ください。

理由も必ずご記入ください。

(6) 解決策の先行事例（3つまで）【公開】

※深掘りしたい課題の解決策には、どんな先行事例がありますか？

	先行事例（組織名や事業名、地域等）	先行事例だと思う理由
1		
2		
3		

理由も必ずご記入ください。

(7) 申請事業（課題&先行事例の可視化）で想定する計画と目標

※申請事業実施期間：2016年4月1日～2016年6月30日のうちで任意
(2016年7月は『あいちの課題深掘り BOOK』2015の校正期間)

	4月	5月	6月
全体の予定	●2日（土）：集合研修		
1. (1) 事業内容			
(2) 事業の達成度を 確認する指標			
(3) 数値化			
2. (1) 事業内容			
(2) 事業の達成度を 確認する指標			
(3) 数値化			
3. (1) 事業内容			
(2) 事業の達成度を 確認する指標			
(3) 数値化			

上記期間内の事業をご記入ください。

各事業の目標を数字でご記入ください。

(8) 申請事業（課題&先行事例の可視化）で想定する実施体制（役割分担や協力先なども記入）

	担当者氏名 会社名	団体との関係	役割・担当業務 (できるだけ詳細に)
1	モグラ (4名程度)	ボランティアスタッフ	
2	地域問題研究所 研究スタッフ	アドバイザー	
3			
4			
5			

内部の人員体制、外部の協力者、ステークホルダーなど、できるだけ詳細にご記入ください。

(9) 申請事業（課題&先行事例の可視化）の収支予算

※「支出合計」と「収入合計」は金額を同じにしてください。

【支出】

費目	内訳および積算根拠（単価、個数など）	金額（円）	
		本助成金	その他収入
	支出合計		

【収入】

	内訳	金額（円）
1) 本助成金		
2) その他収入		
	収入合計	

以上